

ブリッジ BRIDGE



社会福祉法人 ゆうかり

89

08
2026



● 特集 『未来へつなぐ障害者基本法』

● お花見会 他
〈ゆうかり学園〉

● 親子遠足、人形劇 他
〈ゆうかり保育園〉

● アート体験 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



社会福祉法人ゆうかり HP

未来へつなぐ障害者基本法

障害者基本法の改正に向けた議論が、本格化しようとしています。私は2023年から内閣府障害者政策委員会の委員として、障害者基本法をはじめとする障害者施策の議論に携わっています。その中で強く感じるのは、今こそ、この二十年間にわたり積み重ねてきた日本の障害者政策の成果を、未来へ受け継ぐ時期に来ているということです。

今回の改正では、障害のある人が望む六つの柱を基本法の理念として位置付けたいと考えています。優生思想を明確に否定すること、本人の意思を生活の中心に据えること、障害のある人を支援の対象ではなく、社会を豊かにし文化を創造する主体として認めること。そして、障害者、支援者、市民、行政、政治が同じ広場で協働し、排除のない共生社会を築いていくことです。先日の内閣府障害者政策委員会では、熊谷晋一郎委員長が「ディスアビリティ・エクスパティ（障害の専門性）」という考え方の重要性にも触れておられます。障害のある人は支援を受ける対象であるだけでなく、自らの経験を通して社会の課題を明らかにし、その解決の方向性を示す専門性を持つ存在です。当事者の知見を政策形成や制度設計に生かすことは、真の共生社会を実現するために欠かせない視点であり、今回の基本法改正にも深く通じる理念であると感じています。

日本は、地域生活支援や文化芸術活動など、世界に誇る実践を積み重ねてきました。その歩みを「日本の誇り」として基本法に刻み、アジア、そして世界へ発信していくことも、これからの重要な使命です。

障害者基本法の改正は、単に条文を見直すことではありません。私たち一人ひとりが「共に生きる社会とは何か」「人の価値や尊厳とは何か」を改めて問い直す機会でもあります。障害の有無

にかかわらず、それぞれが違いを認め合い、互いに学び合い、支え合う社会を築くことこそ、基本法が目指す本来の姿です。その理念を次の世代へ確実に引き継ぐことが、今を生きる私たちの責任ではないでしょうか。

障害者基本法は、障害のある人だけのための法律ではありません。誰もが尊厳を持ち、自分らしく生きることができる社会を実現するための礎です。現場の実践と当事者の声を大切にしながら、未来につながる障害者基本法の実現を目指していきたいと思います。

支援の歩みが評価

このたび、当法人の取り組みに対し、高等裁判所長官より表彰をいただきました。日々の実践に光を当てていただけたことを、心よりありがたく感じております。

私たちは、家庭裁判所からの補導委託を受け、非行や課題を抱えた若者とゆうかり学園、ゆうかり保育園、地域生活支援拠点ゆうかり、それぞれで生活をともにしながら、その人らしい歩みを支えてきました。一人ひとりと向き合う中で、悩み、迷いながらも積み重ねてきた時間が、今回の評価につながったのだと思います。

この栄誉は、現場で支え続ける職員と、温かく関わってくださる地域の皆さまのおかげです。感謝の気持ちを胸に、これからも共に歩んでまいります。

NPO法人全国地域生活支援ネットワーク
社会福祉法人ゆうかり
理事長 水流 源彦



花見のために掃除したよ♪



元気なのは桜の木だけ
ではありませんよ



桜の木の下で集合パチリっ!



春ですね〜



笑顔は花見マジック!



私が花見の席の挨拶を務めます!



「花より団子」はいつだって正しい



花見とは飲む事でもある、にこっ!



なんとなくステージ側に
来ちゃったよ



「絵本の読み聞かせ」
貴重な体験でした



疾走の雄姿に刮目せよ!



見よ! 勝利のフォームを!



好成績収めて笑みこぼれる表彰式



全力尽くして弁当楽し



みんなで挑んだ大会でのひととき



有終の美〜記念撮影

園庭の花見を見ながら…

4月3日に食堂でお花見会を開催しました。前日までの雨で屋内開催となりましたが、約100名の利用者さんが参加されました。当日は園庭の満開の桜の下で記念撮影を行い、その後は大カラオケ大会で活動場を越えて交流を深めました。笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。

writer: 宇都 大作

人形劇「赤ずきん」

5月12日、日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」おはなしキャラバン“つばさ”の皆さんによる、人形劇「赤ずきん」が開催されました。利用者さんは数日前からポスターを見て楽しみにされていました。参加型の劇ということもあり、一つの物語をみんなで楽しめる、素敵な時間となりました。

writer: 松元 詞子



4月1日 入園式



16名のお友だちが



仲間に加わりました♪



5月9日 親子遠足



今年はウッディーでした(^^)♪



5月26日 芋の苗植え



今年も、もも組さんが挑戦!



たくさん育ちますように〜。



フレスポでも遊んだよ♪



最年少のお友だち♪



いえーい!!



木登り大好きー!



ピーマンときゅうり収穫したよ♪

親子遠足

5月に毎年恒例の親子遠足が平川動物公園で行われました。子どもたち同士で手を繋いで動物を見たり、保護者の方々の間で交流を深めたりする姿が見られました。「動物園に先生がどうしているの?」とキョトンとする1歳児さんの可愛い姿もあり、子ども達も保護者も笑顔あふれる一日となりました。

writer:井上 美鈴

人形劇

5月に日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」の方々が来園し、「赤ずきんちゃん」の人形劇を披露してくださいました。お話に引き込まれるようなセットと、子どもたちも参加できる本格的な人形劇で、自然と笑顔があふれる楽しい時間となりました。草牟田拠点の利用者さんと一緒に観覧し、交流を深める良い機会となりました。

writer:園田 勝章



皆、集中して制作していました。



風船バレーを楽しめます



おもいっきりアタック♪



どの素材にしようかな～(>_<)



パスをちょうだい



バスケットボールも楽しめます



きれいに削って、角を取っていつています。



丁寧に作り方を教えて下さり、ありがとうございました。(♡)



作った作品を並べて行きます。(♡)



皆のアート作品が手をつなぐ。(♡)

いい えがお
楽しいね

最後は 掃除も しっかり

皆のアート作品が手をつなぐ (♡)

6月11日にカサネタ木工さんが来所してくださいました。以前もスケートボードの廃材を使ったクリスマスツリー作りでお世話になりました。今回は作り方を丁寧に教えていただきながら、人型の置物アート作品を作成しました。最後はそれぞれの作品が手をつなぎ、一つの作品に仕上がりました。

writer: 溝下 壮太郎

体育館での楽しい活動 (人)

午後の活動の一環として、知的障害者福祉センターの体育館を週に1回程度利用しています。広い体育館では、風船バレーなどの軽スポーツを楽しみながら体を動かしています。利用者の皆さんも積極的に参加され、笑顔あふれる時間となっています。今後は貸し出し用具も活用し、活動の幅をさらに広げていきたいと考えています。

writer: 富窪 猛



研修報告

HACCP(ハサップ)の基本概念と重要性について

6月5日に行われた内部研修で、夏に向けたアイスコーヒーの淹れ方講座と、食品衛生管理手法であるHACCP(ハサップ)について学びました。HACCPは、食中毒や異物混入などの危険要因をあらかじめ予測・分析し、安全な食品を提供するための衛生管理手法です。

研修では、焙煎から時間が経ったコーヒー豆

と入荷したばかりの豆を使い、味や風味の違いを検証しました。その結果、一口で分かるほど鮮度による違いを実感し、食品の鮮度管理の大切さを学ぶ機会となりました。今回の研修を通して、HACCPをこれまで以上に意識し、安全で美味しいコーヒーを多くの方にお届けしていきたいと思います。

writer: 溝下 壮太郎

入職

よろしくおねがいします

● ゆうかり学園

生活支援員 / 川添 美奈



6月から入職しました。利用者さんと寄り添いながら素敵な時間を過ごせるように心がけていきたいです。

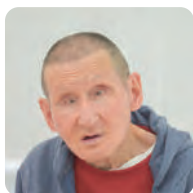
長寿祝い

喜寿・還暦を迎えました。おめでとうございます！



喜寿

Hさん (S24年生まれ)



喜寿

Kさん (S24年生まれ)



喜寿

Mさん (S24年生まれ)



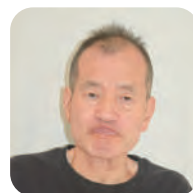
還暦

Mさん (S41年生まれ)

お悔み

お悔み申し上げます

平成11年にゆうかり学園へ入所され、園芸班で活動されていた時期には、ご自身のペースで活動に取り組まれていました。皆さんと様々な活動にも参加される姿や、食事の時間を何より楽しみに、誰よりも早く食堂へ向かわれる姿は、昇さんらしい思い出として私たちの記憶に残っています。長年にわたる歩みに心から敬意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



Nさん (享年69歳)

昭和54年にゆうかり学園に入所され、畜産班で活動されていた時期は、仲間とともに意欲的に日々の作業に励まれていました。焼酎箱作りが盛んに行われていた頃には、仕上げの釘打ちを担当され、その確かな仕事ぶりは多くの職員や利用者の記憶に残っています。長い学園生活の中で積み重ねられた歩みに心から敬意を表するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



Mさん (享年78歳)

—支援すること—



昨年、鹿児島とアメリカ合衆国ノースカロライナ州の山の中との2拠点生活をしています。鹿児島の仕事（認定こども園の運営、ナガヤタワーという「住人参加型賃貸住宅」の運営）は引き続きリモートで続けています。

アメリカでは夫と共に、日本でいう「ファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業：虐待や養育困難など様々な事情で家庭を離れた子どもたちを、養育者の家庭に迎え入れ、家族のように生活を共にする制度）」に似た施設で暮らしています。

施設は人口1,600人程度の町にあります。ゆかり学園の本部がある岡之原町全体と同じぐらいの規模ですが、一つ大きく違うのはその立地です。最寄りのスーパーまで山を下りて車で40分かかります。施設の敷地内では、鹿やリス、ウサギなどの動物に毎日出くわしますし、春先には熊も出没するそうです。

現在一つ屋根の下で共同生活をしているのは、5歳から15歳までの子どもたちです。当たり前かもしれませんが、ところ

変われば子どもの生活も全然違うのだなとびっくりすることばかりです。日本では幼稚園年長にあたる子どもたちが、朝6時20分発のスクールバスに乗って1時間ぐらいかけて通学し、朝ごはんも学校で食べ、シャワーも自分一人で浴びること。

日本で非常時といえば地震や火事の避難訓練ですが、こちらでは侵入者が銃を乱射した想定での訓練をすること。

学校との連絡や子どもの成績確認は、幼稚園から高校まで基本的にすべてアプリで行うことなどなど。

日米で生活や学校環境は違っても、子どもたちの成長に必要なことに大きな違いはありません。

一人ひとりを受容し、肯定的に応答していくこと、地域社会とのつながりを大切にすることなど、恐らく、ゆかり学園で皆さんが日々なさっている支援とも大きく変わらないのではないかと思います。

法人設立から何十年間も、多くの利用者の皆さんの生活を支えてきた、ゆかり学園の皆さんに、改めて、心から敬意を表します。



プロフィール

堂園春衣

好きなもの：あんこ、夜明けの空

好きな時間：犬と散歩、昼寝、ヨガ

相談支援の初回面談で趣味を伺うようにしています。「無趣味が悩み」と言う人に会った翌日、「画用紙に詩を書く趣味で人生が救われた」と言う人に会いました。私は十年以上続ける習い事がありますが、趣味と言えるのか分かりません。ただ自分を構成する欠かせないものになっています。無趣味に悩む方も、趣味が欲しいとジタバタしている時間も大事な時間だと思います。相談の場面でも、何をしていきたいか分からないという人に、その人のペースに寄り添う支援を大切にしています。

writer: 満窪 希

= Event =

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
8月	夏季休暇 誕生者外出	4日 防犯教室 7日 食育 8日 一年生同窓会 19日 避難訓練 29日 親子レクリエーション	誕生会 土曜開所2回 納涼会
9月	いつまでも元気会 十五夜 誕生者外出	2日 食育(うめ組) 4日 避難訓練 10日 食育(もも組) 16日 食育(さくら組)	誕生会 土曜開所2回 ピクニック
10月	誕生者外出 31日 秋祭り	3日 避難訓練 9日 食育(うめ・もも組) 13日 秋の遠足 21日 内科健診 28日 食育(さくら組)	誕生会 土曜開所2回 運動会

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 川田 晃一・松元 詞子(ゆうかり学園) 甲斐 静華(ゆうかり保育園)
富窪 猛・キム フック・溝下 壮太郎・満窪 希・嘉茂 久美子(地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

